

木疑いの本箱



働かないアリに意義がある
著：長谷川 英祐
発売：メディアファクトリー
新書
：2011年4月 第6版

社会性生物の様々な生態を紹介し、ひとと虫との体の構造から知能程度まで全く異なる社会性生物の奇妙な一致点をユーモラスに描く、進化生物学者である著者の社会性昆虫の最新知見

実に頼りない記憶なのだが、かつて本書と同じテーマを、日本蜜蜂の養蜂技術についての専門書で見た記憶がある。当時の私は、日本蜜蜂特有の(逃去)という行動に関心があり、『社会性生物らしくもない習性だな』程度に軽く流していた。本書で大変な読み落としに気付いたのだ。単純に言えば、皆が同量のモチベーションで一緒に同じ仕事に取りかかる事の危険性だ。本来は目的の緊急度に応じて必要な労働者を必要な現場に増減できるのが理想である。組織社会では指導者がいてその判断で手配されるのだが、蜂にも蟻にもそんな指導者はいない。にもかかわらず個体の勝手なモチベーションで、そんな高度な労働管理が出来るのはなぜだろう？。本書はその疑問を反応域の個体差という風に説明されている。つまり皆が一斉に同じ危機意識を持たないという事なのだ。蜂や蟻にとって個性や多様性は、統率力より重要な危機管理の要素なのだという事になる。指示待ち人間の(サボリ)とは訳が違うのだ。果たしてヒト社会は進化したのか？

森でこのみつけた〜

里山フェスタの事前施業を11月23日(祝・土)に行いました。上のトイレ掃除からの帰り、ふと足元を見るとドでかい葉っぱがたくさん落ちています。「これってホオバ？」見上げると、葉のつきかたもホオバっぽい！朴葉焼ができるかな？



編集後記 イチ・推し

今号のイチ・推しは、里山フェスタにおいて各社の森で繰り広げられたオリジナリティあふれる施業。施肥ダム作り、施肥ダムの補強・修復に、そして植樹にも参加者の工夫と技術が散りばめられています！2〜3ページで紹介していますので、ぜひご覧ください。

F・C・CのAさん、今日一番頑張ったで賞とあげたい！

本部スタッフ遠藤も「能登へ行ってきました」

10月31日から3泊4日で穴水町の『ボラまち亭』へ行ってきました。名古屋のNPO法人レスキューストックヤードの拠点でもある『ボラまち亭』は、由比ヶ丘の旧陸上競技場(現在は仮設住宅)の管理棟を穴水町から借り受け、住民の皆さんが楽しく交流したり、いろんな困り事を相談できる場として運営しています。その中に企業や個人から寄付された食料品や衣料、日用品を住民の方に無料でおすそわけているコーナーがあり、その品出しやアンケートの配布、合間に来所された方々のお話しを聞くというのが今回の主な活動です。8月に珠洲市で開催したサロンの時もそうでしたが、被災者の皆さんはとても明るく

丈に振る舞っていらっしゃいますが、他の人も同じように辛い思いをしているのだから他人に迷惑をかけるはいけないという意識が強く、自分だけ何かしてもらおうことになり抵抗があることが感じられました。また、この仮設住宅には色々な地区からそれぞれのタイミングで入居しているため、コミュニティが形成されず、まとも役もないこと



陸上競技場を埋め尽くす仮設住宅群。180世帯も暮らしていますが、コミュニティが形成されておらず、孤立しがち

から、入居者が孤立してしまうおそれがあります。そのため日頃から病院と連携し、お宅に訪問して健康チェックを行う、看護見守りボランティアの方もいらっしゃいます。このような場所を利用して、同じような境遇の人や全然異なる環境の人と話をすることで、少しでも気持ちが楽になって、一刻も早い解決に繋がるよう願うばかりです。



お裾分けコーナー。食品や日用品などひとり10点まで。バランスよく品出しするのがボランティアの役目

CSRの情報紙
季刊プレンティア
2025年 冬号 vol.31
〒430-0907 静岡県浜松市中央区高林5丁目11-6 http://plenteer.com/

お力をお貸し下さい・力をお貸しできます。
私たちの活動は、
●身近な環境を大切にされる企業、団体の皆様の協賛によって支えられています。
●私たちの理念に賛同いただける個人の皆さんの支援によって支えられています。
●私たちの理念に協働していただける個人団体の熱意によって支えられています。



森においでよ

都会暮らしのルーティーンから、
ちょっとの間だけ抜け出して...



ほんとの豊かさを見つけよう。

宇宙船地球号の反乱 地球の歴史を1年とするとヒトの歴史は4時間。産業革命以降の歴史はその終わりのたったの1秒なのです。(環境循環型白環環境の状況・序章)

ヒトの異常繁殖史
たった一秒間の出来事

私たち人類は、この宇宙船地球号の古くからのベテラン船員であるかの様に思い込み、あたかもこの宇宙船地球号の支配者であるかの様に振る舞っています。

しかしヒトがそういう振る舞いを始めたのは、四十六億年に及ぶ地球の歴史の中ではほんの最近の、ここ二五〇年足らず、地球の歴史を一年のカレンダーにすると、わずが一秒間の出来事なのです。同様にヒトの歴史は、類人(ホモ族)の登場を起源としたとしても、たったの四時間にすぎません。その上、ヒトの起源を類人ではなく現人類であるホモサピエンスの誕生と考へれば、ヒトがこの地球上に登場したのは、大晦日の深夜の鐘が鳴った二十三分前という計算になります。

しかしここで記憶しておいて頂きたいのは、この地球上にヒトの登場したのがわずか四時間(あるいは二十三分)に過ぎないという事実だけではありません。

そんなサブ・カルチャー知識より、想いを馳せなければならぬ事は、このわずか四時間しか滞在していないヒトという「種」がこの宇宙船地球号の中で、一体何をしていたのかという事実の重大さなのです。しかもそれは今後の数十分で、この地球上に生命が誕生したという奇跡さえ、無にしてしまうかもしれない行為なのです。

四十六億年前、地球は暗黒の宇宙にポツカリと浮かんでグラグラ煮えたるマグマの固まりでした。その球体の表面が二億年かけて徐々に冷え、カサパタのように固まって陸地が出来、更に降り続いた雨がその陸地の亀裂に流れ込んで、壮絶な蒸気爆発を幾度となく繰り返されました。そうしておよそ十一億年掛かって海が形作られたのです。その間の地球は、単に化学的な反応と物理学的な力だけが支配する無機質な空間でしかなかったのです。その化学反応だけが全てを支配する、煮えたる固え間なく高熱を吹き出し続ける深海の底で、途方もない奇跡が起ったのです。異常な環境下で化学反応によって生じた化学物質が変化を繰り返して、「生命」が誕生したのです。約三十五億年前、地球カレンダーで言えば二月の中旬です。無機物同志を反応させて有機物である生命を生み出すなどという事は、現代の知識を持ってさえも人間の及ばない奇跡というしかない出来事なのです。こうして生まれた原始生命体は原始有機物を吸収して、その後三〇億年の間海中で過ごすことになりました。

その三〇億年の間に生命は、大きな気候変動や地殻変動に曝され続けながらも、多様な変化を繰り返しておびたいた「種」に分化し、それが絶滅や進化や繁栄や衰退を繰り返しながら、ゆっくりに食物連鎖という巨大な生命体自体のつながり「系」を築き始めてゆきます。

生態系の始まりです。無機物の化学反応だけが支配する宇宙空間の中に、初めて有機物の生態反応という全く別の力学で動く世界が現れたのです。(つづく)

私達の活動は地域の企業や団体の協賛に支えられています。

「ひとの思い」も活かしたい。人にも地球にも
小林クリニック
院長 小林 正人

“自然”から学びつづけよう!... 人も企業も、お役に立ててこそ栄えます。
株式会社 サカエ
〒430-8691 浜松市中区野口南336 TEL(053)461-4521 http://www.sakae-jp.com

環境にやさしい光で次代を拓く人材の育成
光産業創成大学院大学

産品山
無添加の純蜂蜜・産地の鮮果熟成
プレミアム純蜜
プレンティアの森 里山産品プロジェクト

循環型社会を目指して
リサイクルクリーンの森
株式会社 リサイクルクリーン
〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣41 TEL053-925-1366

次代につながる夢を
キャララー 蔵屋夢
中区野口町 TEL:090-1750-0383

SPICE CURRY SET
AIR SPICE
https://airspice-stores.jp

TRAD FURNITURE TRAD HOUSE & TRAD LIFE
HOUSE TRAD
GOOD DECORATION IS A GOOD INVESTMENT
〒430-0919 浜松市中区野口218-5 www.housetrad.com

永く安心して暮らせる住まいづくり
アイジーの森
株式会社 アイジーコンサルティング
〒430-0906 静岡県浜松市中区住吉4-9-5 http://www.ig-consulting.co.jp

環境と共生する豊かな社会の実現にむけて...
エフ・シー・シーの森
株式会社 エフ・シー・シー
http://www.fcc-net.co.jp/

小堀谷の里
HOUSE TRAD
〒430-0919 浜松市中区野口218-5 www.housetrad.com

森力再生 森づくりC.S.R.トラスト 里力の復活 N.P.O.小堀谷の里の会 GR サポーター
・キャララー蔵屋夢
・北村農園
・やまいか堂

森においでよ

都会暮らしのルーティーンから、ちょっとの間だけ抜け出して・・・
ほんとの豊かさを見つけよう。



第13回 里山フェスタ in 小堀谷

令和6年11月30日開催
 里山フェスタ IN 小堀谷
 40名参加 (スタッフ8名)

例年より1カ月近く遅い日程で開催となりましたが、温暖化の影響が心配したほど寒くもなく、体を動かすにはちょうど良いくらいの施業日和でした。「知識と技を磨いて、ほんとの豊かさを見つけよう!」という水野代表からのメッセージを受けて、各社の



水野仁輔さんのトークショー。カレーはニンニクとショウガができています?というお話

森ではアイデアと工夫に満ちた施業が繰り広げられました。森のランチはカレーの伝道師、水野仁輔さんによるスパイスカレー。選りすぐりのスパイスが織りなす芳醇な香りと、爽やかな辛さが口いっぱいに広がって、至福の時間です。



第9回 森んピック

ランチの後は、恒例の森んピック。今回はおなじみの「シダ飛行機飛ばし」1種目。この時間はあいにくの向かい風で、シダ飛行機は

風に押し戻されてしまい、飛行時間の割に記録は伸びませんでしたが、参加者は明らかにコツをつかんだ様子。次回が楽しみ!



オリエンテーション&閉会式

閉会式に続いて水野代表より、地球環境や生態系についてのオリエンテーションと施業の注意事項。閉会の言葉は森づくりトラスト副幹事の北島さん。フェスタが楽しく有意義に開催できて良かった!

連載 Eジイのe-小言

VOL.14 ジイさんよ世代論を疑え

イメージが共有出来るという事。それこそが会話を噛み合わせる為の欠く事出来ない重要な基盤であるという事はすでに前項に書いた通りだ。そこに世代論がどどんと(現代社会の万里の長城ともいえる)防潮堤の様には立ち上がってしまつたら、まさしく精神的隔離じゃないか?こうなるとますます共有イメージを持てる同世代だけの大政翼賛的、大鼓の持ち合い的な議論しか生まれない。そういえば防潮堤ブームの際、舟屋とか命山とかいった、災害大国である日本に生まれ、かつて存在したはずの独特の社会感については誰も触れたものは居なかった。そればかりか災害の度に日本人が向かって来た哲学にすら向かう事はなく、それらの視点は置き去りにされたまま、ひたすら防潮堤の物理的な合理性とか、経済的可能性だとかの議論だけが、かしましく飛び交っていたはずだ。人文科学的な視点も全くなかった訳ではないがその多くは(修景的価値)という視点であり、防潮堤によって閉ざされるものが海辺の風景などではなく、ヒトと自然との関係なのであり、ヒトの暮らしと自然の営みとの距離感なのだなどということには気付かれもしなかった。それも今になっては無理もないという事情もある。舟屋や、命山の時代には、生産材よりヒトの命の方が重かったから、何もかも投げ捨てて命だけ守れば良かった。彼らの生産材である田んぼや畑や漁場は災害が過ぎればいつかまた戻って来るし、力を合わせて戻す事も出来る。だから村長はこう叫んだらう『命を守れ!、また作ろう』途方もなく巨大な生産材を海辺に抱えてしまった現代の行政や大企業に、同じ事が心からそう言えるだろうか? **Eコ・ジイ**



天電小堀谷 リサイクルクリーンの森

今までに作った保育園を手早く修復。植樹を終えた後は次回に備えて設置場所を開拓するという余裕も。さすがです。さらに、朽ちた木を崩して、肥料となるよう、植樹した苗の根元に敷いていました。オシャレ!



自分の植えた苗だけにチップを置いた彼(上)。他のメンバーから「1本にだけ肥料を施したら怒られたってオリエンテーションで言ってただろ!」と突っ込まれ、みんなにも。



天電小堀谷 アイジーの森

いつもアットホームなアイジーの森では、子どもたちが木の枝を上手く使って植樹のための穴を掘っていました。昨年植えた苗が何本か活着している様子も見られ(写真下)、施肥ダムづくりのモチベーションが上がります。



杭が細すぎたので、補強と装飾を兼ねて木の根っこを打ち込んでいますが、どうでしょう?



天電小堀谷 エフ・シー・シーの森

緩斜面が施肥ダムだらけになってしまったFCCの森では、急斜面での施肥ダム作りにも果敢に挑みます。チェーンソーが使えるリーダーが他の森に移動した後は、手鋸で丸太を切ってナタで丸太を削り、杭を作っていました。施業時間が足りない!



ナタで丸太を削っているところ。ヒタヒタな沢の水を汲んで苗に水を。崩れかけた施肥ダムを杭と石で補修。枝葉をてんこ盛りにしても耐えられるよう、頑丈になりました!



(株) リサイクルクリーンのみなさん



(株) アイジーコンサルティングのみなさん



(株) エフ・シー・シーのみなさん



ナタで丸太を削っているところ